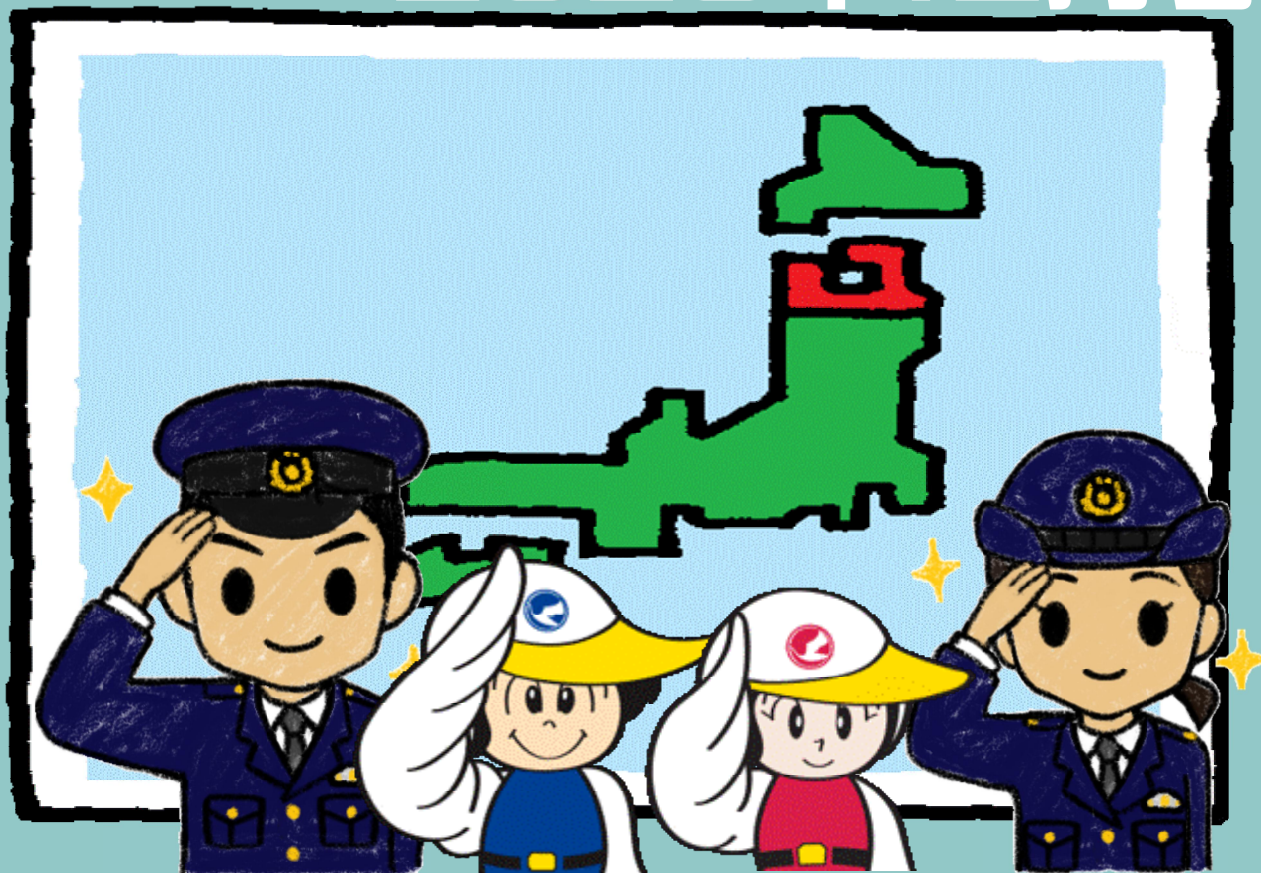


広報あおもり

2025年12月号



青森県警察シンボルマスコット
「アピーくん」&「レピーちゃん」

青森県警察本部 広報課

～目次～

- 子供に関する相談は「少年サポートセンター」へ【人身安全対策課】
- ネットトラブルを防止しよう【人身安全対策課】
- 暴力団の違法な活動に関する情報の積極的な通報と暴力団犯罪被害の早期届出の推進～暴力団の摘発には皆様の情報提供が不可欠です～【捜査第二課】
- 冬の交通安全県民運動のお知らせ【交通企画課】
- シートベルト・チャイルドシートを正しく着用しましょう！！【交通企画課】
- 運転免許自主返納者支援のご案内【交通企画課】
- 飲酒運転はやめよう！【交通指導課】
- 《お知らせ》年末年始の運転免許窓口【運転免許課】
- 「安全運転相談窓口」活用してみませんか【運転免許課】
- 国スポ、障スポ開催に伴うテロの未然防止にご協力を【警衛対策課】
- 12月の広報予定

子供に関する相談は「少年サポートセンター」へ

青森県内の少年非行概況は？（令和7年9月末・暫定値）

【非行少年の検挙・補導状況】

区分\年別対比	R6.9末	R7.9末	増減数
非行少年	138	153	15
刑法犯少年	115	135	20
犯罪少年	67	91	24
触法少年	48	44	▲4
特別法犯少年	20	18	▲2
犯罪少年	20	17	▲3
触法少年	0	1	1
ぐ犯少年	3	0	▲3

【不良行為少年の補導状況】

区分\年別対比	R6.9末	R7.9末	増減数
不良行為少年	1,211	1,087	▲124
喫煙	476	435	▲41
深夜はいかい	287	242	▲45
粗暴行為	207	158	▲49
その他	241	252	11

【刑法犯少年】

- 135人（前年同期比+20人）
- 再犯者率は18.5%
- 「万引き」が38人で最多
- 学職別では「高校生」が38人で最多

【特別法犯少年】18人（前年同期比-2人）

【ぐ犯少年】0人（前年同期比-3人）

【不良行為少年】

- 1,087人（前年同期比-124人）
- 「喫煙」が435人で最多
- 学職別では「高校生」が396人で最多



万引きは犯罪です



「少年サポートセンター」はどんな活動をしているの？

《少年相談活動》

悩みを抱えているお子さん自身、保護者の方などから、内容を問わず相談に応じます。少年問題に関する専門的な知識や技能を持つ「少年補導職員」が対応します。

《継続的な支援活動》

少年や保護者の抱えている問題や悩みが、

- エスカレートしない
- 繰り返さない

よう、また、犯罪などの被害に遭った少年の精神的被害の回復・軽減を図り、

- 再被害に遭わない

よう少年や保護者に寄り添い、継続的な支援を行っています。

「面接」や「電話」による助言指導のほかに、ケースに応じて、「修学・就労支援」「学習支援」「農作業体験」「物づくり体験」など、保護者の同意を得た上で、継続的な支援を行い、少年の立ち直りを支援しています。



「少年サポートセンター」はどこにあるの？

- 青森少年サポートセンター
新町センター（警察本部内） ☎0120-58-7867
安方センター（青森警察署内） ☎017-776-7676
- 八戸少年サポートセンター
（八戸警察署内） ☎0178-22-7676
- 弘前少年サポートセンター
（弘前警察署内） ☎0172-35-7676
受付時間：月～金 8:30～17:15（祝日・年末年始を除く）
- 少年サポートメール youngmail-587867@extra.ocn.ne.jp
24時間受信、回答は2～3日後（土・日・祝日・年末年始を除く）

こどもは なやむな

1人で悩まず
気軽に
相談してね♪



少年サポートメール

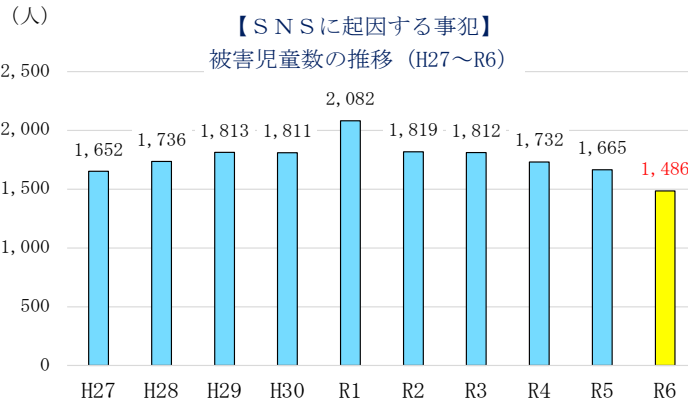
青森県警察本部 人身安全対策課

ネットトラブルを防止しよう

子供の性被害・被害児童の実態

「令和7年・少年からのシグナル」(警察庁)より

●令和6年における**SNSに起因する事犯**(SNSを通じて面識のない被疑者と被害児童が知り合い、交際や知人関係等に発展する前に被害にあった性犯罪等の事犯)の被害児童数は**1,486人**で依然として高い水準で推移しています。



☆実際にこのような被害が起きています

ケース1

A男(中学生10歳代)は、オンラインゲームで知り合った男が、ゲームアプリの課金を約束したので、SNSで自慰行為の動画を送信した。



ケース2

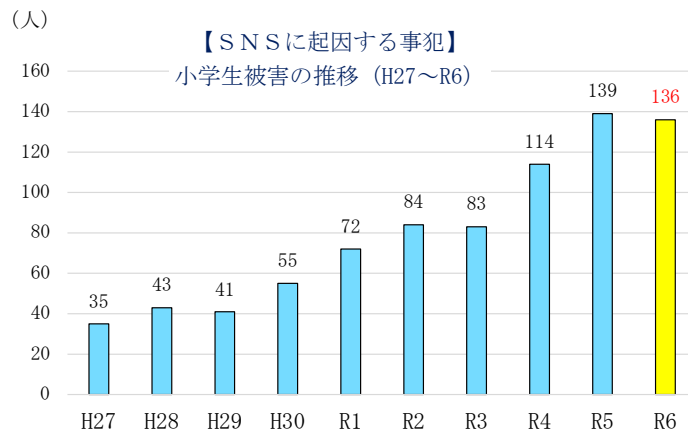
B女(小学生10歳代)は、SNSで知り合った男から、B女が投稿した顔写真にわいせつな文言を加えた画像を送られ、「僕の言うことを聞かないならさらすね」「じゃあ、お前の写真ばらまくわ」などと脅迫されたことから、下半身を触る動画を撮影の上、送信した。

ケース3

C女(中学生10歳代)は、SNSで知り合った男が、コスプレ撮影会に来てくれればお金を払う旨約束したので、面会したところ、現金を渡され性交等させられた。

●近年の傾向として、被害児童に占める**小学生の割合が増加**しており、この要因としては、低年齢児童にスマートフォン・SNSの利用が広がったことに加え、「**フィルタリング**」を含め、「**ペアレンタルコントロール**」機能の活用が十分でないことが考えられます。

小学生の被害児童数の推移



「フィルタリング」の設定を！

●「**フィルタリング**」の利用の有無が判明した被害児童のうち約9割が、被害時に「**フィルタリング**」を利用していませんでした。

●「**フィルタリング**」には、子供の年齢等に応じて利用時間を設定したり、アプリケーションの利用を個別に許可または制限することができる機能もあります。また、携帯電話機だけでなく、タブレット端末や携帯ゲーム機等の子供が利用する機器に応じた適切な管理が重要です。



《少年に関する悩みごとは
少年サポートセンターへ》

青森少年サポートセンター

新町センター 0120-58-7867

安方センター 017-776-7676

八戸少年サポートセンター

0178-22-7676

弘前少年サポートセンター

0172-35-7676

受付: 月～金8:30～17:15(祝日・年末年始を除く)

少年サポートメール

youngmail-587867@extra.ocn.ne.jp

受付: 24時間受信、回答は2～3日後

(土・日・祝日・年末年始を除く)

暴力団の違法な活動に関する情報の積極的な通報と 暴力団犯罪被害の早期届出の推進

～暴力団の摘発には皆様の情報提供が不可欠です～

捜査第二課



◎暴力団に関する相談窓口

暴力団が恐れるもの

それはあなたの暴力団を恐れない「勇気」なのです。

暴力団からの不当な要求や嫌がらせでお困りの方は、お近くの交番、警察署又は公益財団法人青森県暴力追放県民センターへご相談を。



○ 警察 017-735-9110または
#9110（プッシュホン電話）

○ 公益財団法人青森県暴力追放県民センター
ナニサ ヤクザゼロ
017-723-8930

◎匿名通報ダイヤル

暴力団や匿名・流動型犯罪者グループ（犯罪組織）が関与する犯罪やオンラインカジノ賭博事犯の通報等を匿名で受け、有効な通報を行った方に対して、情報料（100万円以内）が支払われます。

0120-924-839

<http://www.tokumei24.jp>

（電話受付は月～金 10：00～17：00）



冬の交通安全県民運動のお知らせ

交通企画課

1 期間

令和7年12月11日（木）～12月20日（土）までの10日間

2 運動の重点

(1) 歩行者の安全な道路横断方法等の実践等と反射材用品や明るい目立つ色の衣服等の着用促進

歩行者は、信号無視をしない、横断禁止区間で横断しないなど、基本的な交通ルールを守りましょう。

道路を横断する際は、「渡る合図とありがとう」の「ハンド&サンクス」で、十分に安全を確認してから渡りましょう。

また、薄暮や夜間は、反射材用品や明るい目立つ色の服装を着用し、交通事故の被害に遭わないように気をつけましょう。



(2) 高齢運転者等の交通事故防止対策

加齢等に伴う身体機能の変化によって、運転に不安を感じている高齢運転者の方は、運転免許の自主返納を検討しましょう。

運転を継続する方は、衝突被害軽減ブレーキ等が搭載された安全運転サポート車の購入を検討するなど、事故を起こさないような対策を取りましょう。

(3) 飲酒運転等の悪質・危険な運転の根絶

飲酒運転は重大な犯罪です。

飲酒運転をする人にお酒を飲ませる、車を貸す、飲酒運転の車に同乗することも犯罪です。

職場や家庭でも、飲酒運転を絶対に許さない環境づくりを進めていきましょう。

妨害運転（いわゆる「あおり運転」）も、絶対にやめましょう。

「思いやり・ゆずり合い」の気持ちを持った優しい運転を心がけましょう。



(4) 冬道の安全運転の推進

積雪・凍結した道路を走行する際は、「急ブレーキ・急ハンドル・急加速」を厳に慎み、「時間・車間距離・心」にゆとりを持った運転を心がけましょう。

また、橋の上やトンネルの出入口などは、路面凍結に注意しましょう。



シートベルト・チャイルドシートを 正しく着用しましょう!!

交通企画課

令和6年に一般社団法人日本自動車連盟（JAF）が行ったシートベルト着用率全国調査の結果によると一般道路・高速道路における運転席及び助手席のシートベルトの着用率は、100%に近い一方で、一般道路における後部座席のシートベルト着用率は、30.2%と非常に低い状況です。



シートベルトを着用せずに交通事故にあった場合、どのような危険性があるのでしょうか。

車内で全身を強打する

交通事故の衝撃により、シートや天井、ドアなどにすさまじい力でたたきつけられます。

車外へ放り出される

開いたドアや割れたガラス部分から、あるいはガラスを突き破って、車外に放り出されることがあります。

前席の人に大けがさせる

後席の人がシートベルトを着用しないと、前席シートに強烈に衝突し、シートごと前席の人を押しつぶしてしまうおそれがあります。

シートベルト非着用時の致死率は、着用時の約15倍も高くなります。
乗車する際は、全ての座席でシートベルトを必ず着用しましょう。

チャイルドシートを適正に使用しましょう!!

令和7年にJAFが行ったチャイルドシート使用状況全国調査の結果によると、青森県の使用率は97.1%で全国1位でした。

チャイルドシートを使用せず、大人用シートベルトを着用すると、ベルトが首やお腹にかかってしまい、事故時の衝撃により首を圧迫したり、内臓を損傷してしまう危険性があります。

また、保護者の抱っこでは、事故の衝撃から子どもを守ることはできず、子どもが保護者のエアバック代わりになってしまうこともあります。

チャイルドシートを使用しない場合、適正に使用した場合より、およそ**4.7倍も致死率が高くなります**。

子どもたちの命を守るために、シートベルトを正しく着用できるようになるまでは、チャイルドシートを適正に使用しましょう。



運転免許自主返納者支援のご案内

交通企画課

高齢者の皆さんの中には、加齢による身体機能の衰えを感じ、車の運転に不安を感じながらも、買物や通院のために運転を続けている方もいると思います。全国的にこのような高齢者の方々による重大交通事故が発生し、大きな社会問題となっています。

青森県警察では、車の運転に不安を感じて自動車運転免許証を自主返納した方々の生活を支援するため、「運転免許自主返納者支援事業」を推進しております。この事業は運転免許証を返納し「運転経歴証明書」を取得された方に対し、タクシー運賃や商品の割引、商品宅配サービスなどの特典を協賛企業から提供するものです。

◇支援を受けるまでの流れ◇

①運転免許証を返納する



【 自主返納の受付場所 】

- 青森県運転免許センター
- 弘前自動車運転免許試験場
- 八戸自動車運転免許試験場 (八戸警察署内)
- むつ自動車運転免許試験場 (むつ警察署内)
- 各警察署

②運転経歴証明書を申請し、交付を受ける



【 運転経歴証明書について 】

運転経歴証明書は顔写真付きで、身分証明書として使用することができます。

- 有効期限
無期限(更新の必要なし)
- 申請場所
上記自主返納の受付場所と同じ
- 申請可能な方
自主返納後 5年以内の方もしくは運転免許失効後5年以内の方

③協賛店に運転経歴証明書を提示して支援を受ける



↑このステッカーが支援協賛店の目印です↑

【 支援協賛店一覧表の配布場所 】

- 青森県運転免許センター
- 各自動車運転免許試験場
- 警察本部1階ロビー
- 各警察署

※ 詳しくは県警ホームページまたは「運転免許自主返納者支援協賛店一覧表」をご覧ください。

運転免許自主返納事業のページはこちらです。
自主返納の受付時間等もこちらから確認できます。



飲酒運転はやめよう！

交通指導課

飲酒運転は、重大な交通事故を引き起こす可能性が極めて高い危険な犯罪です。

県民の皆様一人ひとりが、「飲酒運転は絶対しない、させない」ことを徹底し、飲酒運転の根絶を図りましょう。

飲酒運転には厳しい処分が！

酒酔い運転



無条件で……

35点 欠格期間3年
免許取消し

酒気帯び運転



呼気中アルコール濃度
0.25mg/ℓ以上

25点 欠格期間2年
免許取消し

呼気中アルコール濃度
0.15mg/ℓ以上 0.25mg/ℓ未満

13点
免許停止 90日

※) 前歴及びその他の累積点数がない場合

※) 欠格期間とは、運転免許を取り消された場合に、運転免許を受けることができない期間

5年以下の拘禁刑又は
100万円以下の罰金

3年以下の拘禁刑又は
50万円以下の罰金

飲酒運転周辺者も厳罰です

車両提供者

酒気を帯びていて飲酒運転をするおそれのある人に車両を提供することは、飲酒運転を助長する行為の中でも特に悪質な違法行為にあたり、飲酒運転をした運転者と「同罪」になります。



運転者が酒酔い運転をした場合

5年以下の拘禁刑又は**100万円**以下の罰金

運転者が酒気帯び運転をした場合

3年以下の拘禁刑又は**50万円**以下の罰金

酒類提供者

飲酒運転をするおそれのある人に酒類を提供することは、飲酒運転を助長する違法行為となります。



※処罰対象は飲食店や酒類販売店などの営業者に限らず、個人も対象となります。

運転者が酒酔い運転をした場合

3年以下の拘禁刑又は**50万円**以下の罰金

運転者が酒気帯び運転をした場合

2年以下の拘禁刑又は**30万円**以下の罰金

飲酒運転車両への同乗者

運転者が酒気を帯びていることを知りながら、自己を運送するように要求・依頼し、その運転者が飲酒運転する車両に同乗することは、飲酒運転を容認する悪質な違法行為となります。



運転者が酒に酔っていることを知りながら、同乗した場合

3年以下の拘禁刑又は**50万円**以下の罰金

運転者が酒気を帯びていることを知りながら、同乗した場合

2年以下の拘禁刑又は**30万円**以下の罰金



《お知らせ》 年末年始の運転免許窓口

年末年始は、窓口が大変混み合うと予想されます。
手続きにも時間がかかることが予想されますので、
あらかじめご了承ください。



《 運転免許試験 》 ※ 金曜日は学科試験・技能試験の実施がありません。

	令和7年最終日	令和8年開始日
運転免許センター	12月26日（金）	1月5日（月）
八戸試験場	12月25日（木）	
弘前試験場	12月26日（金）	
むつ試験場	12月23日（火）	1月6日（火）

※ 運転免許センターは、12月26日（金）は失効受験の実施がありません。

《 運転免許更新 》

	令和7年最終日	令和8年開始日
運転免許センター	12月28日（日）	1月4日（日）
八戸試験場		1月5日（月）
弘前試験場	12月26日（金）	1月4日（日）
むつ試験場		

他の手続や各種手続時間、各警察署の受付事務等について、詳しく知りたい方は、青森県運転免許センターにお問い合わせするか県警ホームページをご覧ください。

青森県警察シンボルマスコット
アビーくん

青森県警察シンボルマスコット
レビーちゃん



【 お問い合わせ先 】

青森県警察本部交通部運転免許課免許係
（青森県運転免許センター内）

電話 017-782-0081



「安全運転相談窓口」を活用してみませんか？

安全運転相談窓口

運転に支障がある病気等にかかった方やそのご家族等からの相談のほか

- ・ 運転に不安のある方
- ・ 運転免許証の返納についてお悩みの高齢者の方
- ・ 上記にあてはまる方のご家族等

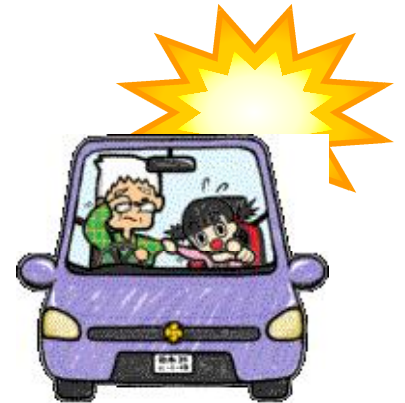
からの相談も受け付けております。

安全運転相談窓口は、

- ・ 青森県運転免許センター
- ・ 八戸、弘前、むつ自動車運転免許試験場
- ・ 県内各警察署

に設置しております。

希望する相談場所へ事前にお問い合わせの上、ご相談ください。



安全運転相談ダイヤル（#8080）

病気や身体に障害を有する方の運転免許の取得に関すること、高齢者等の運転の継続に関すること、運転免許証の返納に関することなどのご相談を受け付けております。

- ・ 全国統一の電話番号
#8080（シャープハレバレ）
- ・ 受付時間
午前9時から午後4時まで
（土、日、休日及び年末年始を除く）

お問い合わせ先

青森県警察本部交通部運転免許課
高齢運転者等支援係・運転免許管理係
☎017-782-0081

国スポ、障スポ開催に伴うテロの未然防止にご協力を

警衛対策課

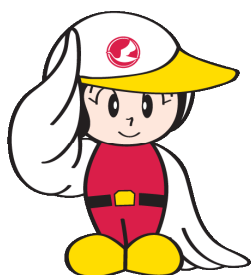
令和8年、青森県では、「第80回国民スポーツ大会」及び「第25回全国障害者スポーツ大会」が開催されます。

海外では、過去に大規模スポーツイベントを標的としたテロ行為が行われたこともあります。

安全・安心な大会開催に向けて、人が集まる施設等で、次のようなことを見かけましたら、警察に情報提供をお願いします。

- 従業員や警備員の動き、防犯カメラの位置を確認している人
- 大きすぎるサイズや異様に膨らんだ服装をしていたり、周辺に不釣り合いな荷物を持っている人
- 人目を避けるようにしている人
- 持ち主が分からない放置された物
- 長時間駐車したり、何度も行き来する車

このほかにも、皆さんの周りで、「ちょっと変だな」、「いつもと違うな」と思うことがあれば、警察に情報提供をお願いします。



青森県警察シンボルマスコット
レビーちゃん

STOP TERRORISM

テロを防ぐため、皆様のご協力をお願いいたします



青森県警察シンボルマスコット
アビーくん

～12月の広報予定～

○ ラジオ広報予定

エフエム青森「あおもり・ふぁん」（毎週月曜日～金曜日 16：55 ～ 17：00）

第1週（1日から5日）	・冬の交通安全県民運動について
第3週（15日から19日）	・冬休みにおける少年の非行や犯罪被害を防止しよう

RABラジオ「県広報タイム」（毎週月曜日～木曜日 7：30 ～ 7：35）

第4週（22日から25日）	・子供に関する相談は「少年サポートセンター」へ
---------------	-------------------------

○ 音楽隊の派遣予定

12月7日（日） 第43回交通安全チャリティー大会 12：00 ～ 12：50（五戸町：五戸町立公民館）
12月13日（土） 東北町青少年健全育成町民大会 11：00 ～ 11：50（東北町：東北町コミュニティーセンター未来館）